

児童養護施設児童の理解について（ご依頼）

赤穂市立塩屋小学校

今、日本テレビ系ドラマ「明日、ママがいない」において、児童養護施設と施設入所児童が実態とかけ離れたかたちで表現をされており、大きな問題となっています。その表現が保護者や児童に大きな誤解や偏見を生じさせる可能性があるとして非難されています。また、誤解にもとづいた発言が入所児童の心を傷つけることも危惧されます。

〈ドラマの表現から偏見や誤解をうむ可能性があること〉

- ①入所児童は、親から捨てられた、見放された子である。
- ②親の引き取りはない。
- ③やがて里子にゆく。
- ④入所児童は、したたかで大人びている。嘘をつく。
- ⑤児童養護施設は暗く、怖いところである。
- ⑥児童養護施設職員は入所児童を虐待することがある。

したがって、お子様が児童養護施設について誤解をしているようであれば、保護者の皆様から正してやっていただきたいと存じます。

また、社会的に問題となっているドラマ等については、保護者の皆様の判断で視聴させないことも必要だと考えております。

（児童養護施設とは）

- ・児童養護施設には予期できない災害や事故、親の離婚や病気、また不適切な養育を受けているなどさまざまな事情により、家族による養育が困難な2歳からおおむね18歳の子どもたちが家庭に替わる子どもたちの家で協調性や思いやりの心を育みながら、生活しています。児童養護施設では子どもたちの幸せと心豊かで健やかな発達を保障し、自立を支援しています。
- ・児童養護施設は子どもたちの生活の場です。できる限り家庭に近い落ち着いた雰囲気の中で、生活を送れるよう心を配っています。

子どもたちは施設から学校に通っていますが、それ以外に、余暇や趣味を楽しんだり、四季折々の行事や子ども会など地域のさまざまな活動に参加しています。これらの活動を通して子どもたちが健全に成長し、社会的に自立するための支援がなされています。

（全国児童養護施設協議会より）

※ **児童養護施設のことや今回の問題については、「全国児童養護施設協議会」のホームページをご覧ください。**

<http://www.zenyokyo.gr.jp/>

また、学校やさくらこども学園にお問い合わせいただいてもけっこうです。

参考資料（全国児童養護施設協議会）の日本テレビへの改善要求

[140121press.pdf](#)

[140129press.pdf](#)